

科目名称	基礎看護技術Ⅱ（日常生活を整える技術）	学年学期	単位数	時間数
		1学年後期	1	30
担当教員	村上 裕紀	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

日常生活援助技術の原理・原則を学び、対象のニーズに応じた科学的根拠に基づいた日常生活援助が実践できる。

【2】学習目標

1. 人間にとっての環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整えるための知識と援助方法が説明できる。
2. 日常生活における活動の意義を理解し、効果的な活動への看護技術を習得できる。
3. 人間の基本的な姿勢と体位が理解でき、援助方法が説明できる。
4. 休息・睡眠の必要性を理解し、安楽安眠への看護技術を習得できる。
5. 身体の清潔の意義を理解し、対象に応じた援助方法について説明できる。
6. 衣生活の意義を理解し対象に応じた援助技術について習得できる。
7. 食事・栄養の意義を理解し、対象に適した援助技術を習得できる。
8. 排泄の意義を理解し、対象に応じた援助技術を習得できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- ☒ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- ☒ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- ☒ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- ☐ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- ☐ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- ☒ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護技術の基盤	講義
2	食事援助の基礎知識とアセスメント	講義
3	事例に必要な食事援助を計画する	グループワーク
4	排泄援助の基礎知識とアセスメント	講義
5	事例に必要な排泄援助を計画する	グループワーク
6	清潔・衣生活援助の基礎知識とアセスメント	講義
7	事例に必要な清潔・衣生活援助を計画する	グループワーク
8	演習計画書の作成①	グループワーク
9	演習計画書の作成②	グループワーク
10	演習計画書の作成③	グループワーク
11	演習計画書の作成④	グループワーク
12	演習計画書を基に演習	演習
13	演習計画書を基に演習	演習
14	演習計画書を基に演習	演習
15	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

以下の方法で総合的に評価する。

- ① ペーパーテスト（70点）
- ② 演習および課題（30点）

【6】教科書

任和子:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(3) 基礎看護技術Ⅱ(第18版) 医学書院 2025(電子版)

【7】参考書

授業内で提示する。

【8】受講生へのメッセージ

既習の基礎的看護技術の知識を確認しながら、対象に応じた日常生活の援助技術を学習しましょう。